

令和元年度 新杉田地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

杉田地区は、国道357号の海側の工業地、国道16号やJR根岸線の沿線の市街地(杉田1、4～5丁目)、丘の上に形成された住宅地(杉田坪呑、杉田2～3、6～9丁目)に区分されます。高齢者(65歳以上)の比率は27.4%、75歳以上の高齢者の比率は13.8%といずれも区の平均に近い比率となっておりますが、杉田7丁目においては高齢者(65歳以上)の比率が42.4%と高齢化が進んでいる地区も多くあります。また、地域福祉保健計画の推進力となる自治会町内会も、核となる役員の交代などにより、新旧役員の共通認識が高まりにくい現状もあり、地域特性に合わせた支援をしていく必要があります。担い手の高齢化も進んでおり、担い手の発掘、育成は喫緊の課題です。そのような背景も踏まえ、すべての地域住民が、地域への関心を深め、地域課題を「我が事」としてとらえ、行動することができるよう、地域特性・地域課題等を考慮した、工夫をした働きかけ等を行っていく必要があります。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	民生委員と協働し作成している要援護者「マップ」を基に地域別要援護者一覧の見直しを行い、地域の特徴的な課題を明確化していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域のサロンや会合等の参加時に地域住民へアンケート調査や聞き取りを行い、身近な地域課題の共有化を図る。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	協力医と共に、ケアマネジャー向けの勉強会開催。医療と福祉のより良い連携をとれるように、1回目は医師との意見交換会。2・3回目は「看取り」をテーマに研修を行い、ケアマネジャーのスキルアップを図る。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	詐欺被害や消費者被害防止に向けた地域づくりのための包括レベル地域ケア会議を2回実施する。会議では詐欺被害の現状を知ってもらい、地域で取り組めることについて検討し、消費者被害防止に向けた具体的な対策を考え取り組んでいく。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント